

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論A (Survey of Political Science A)		
ナンバリングコード	K10901	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(公民) 教職関係科目(選択): 中学校教諭一種免許状(社会) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K003801	クラス名	-
担当教員名	鄭 敬娥		
履修上の注意、履修条件	新聞やニュースなど、政治的争点および制度などに常に注目し、自分なりの考え方・疑問を整理して授業に臨む。		
教科書	北山 俊哉・馬淵勝ほか編『はじめて出会う政治学 一構造改革の向うに』(有斐閣アルマ、2009年)		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	国際政治学、国際政治事情		

○基本情報	
授業の目的	政治学をより身近なものとして感じてもらう。そのために、政治の基本的な仕組みを理解し、日々の出来事を事例にしなが、政治的諸事象を把握する構造的な観点を獲得する。
授業の概要	授業では、具体的な政治の仕組みを理解するために、官や民、企業など政治的アクターの行動原理およびその相互作用を理解する。それとともに、自らの周りにある「政治的」事象に関して、その背景にある考え方、問題点、解決策などを報告してもらう。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ディベートへの参加度など。	60点	20点	20点
【知識・理解】	政治の仕組みに関する理解、制度の歴史に関する知識の獲得に努め、自分なりに争点を整理できるようにする。			
【技能・表現・コミュニケーション】	あるテーマに関して各自プレゼンテーションを行い、授業の中で様々な意見を引き出し、整理できるようにする。			
【思考・判断・創造】	争点毎に自分なりの解決案を示せるようにする。			

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
基本的な概念の理解度および引用元の提示など。ディベートへの貢献度など。プレゼンテーションを行ってもらった上で、クラス全員が議論を行い、講義者もコメントや意見などを加える。

○その他
社会的事象のなかで、興味のあるテーマを選び、1~3人で報告を行う。それをもとに毎週20分~30分間議論する。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論A (Survey of Political Science A) 鄭 敬娥	授業コード	K003801
<b>学修内容</b>				
<b>1.</b> 政治学とは:政治学とはどのような学問であるのか、を理解するために、主な問題意識、基本争点、アプローチの仕方などを概略する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>2.</b> 鉄の三角同盟:日本の社会を規定するルールがどのように制定され、維持、強化されるのかを官と民、政治との関係で考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>3.</b> 多元的民主主義:民主主義の諸プレイヤーを理解し、相互の関係を検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>4.</b> 官と民の関係:官と民(企業)の関係を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>5.</b> 大企業と政治:民(企業)と政治の関係を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>6.</b> 選挙と政治:民主制の基本である選挙の意味、役割、制度を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>7.</b> 地方分権:国と地方の関係、地方分権の意義を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>8.</b> マスメディアと政治:社会における影響力資源としてのマスメディアの役割、意義、問題点を検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論A (Survey of Political Science A) 鄭 敬娥	授業コード	K003801
<b>学修内容</b>				
<b>9.</b> 国会:日本の国会の特徴を諸外国の比較のなかで検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>10.</b> 内閣と総理大臣:内閣の仕組みと総理大臣の役割、権限などについて検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>11.</b> 官僚:日本の政治における官僚の役割と問題点、その仕組みなどを理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>12.</b> 戦後日本の政治①:戦後日本の置かれた国際環境を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>13.</b> 戦後日本の政治②:戦後の国際環境のなかでとられてきた、日本政治の基本方針とその問題点を検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>14.</b> 戦後日本の政治③:グローバル化しつつある新たな国際環境のなかで、日本が直面した新たな問題を検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
<b>15.</b> 総括:授業の振り返り				
予習	授業の全体を通して、もう一度説明してほしいところ、疑問点などを整理して、質問するように用意する。			約2時間
復習				約2時間
<b>16. 期末試験</b> 定期試験				
予習				
復習				